



"To acknowledge the duty that accompanies every right"  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHI-KU,  
 OSAKA, JAPAN

July 2004~05 No.1  
 Chartered July 20, 1982

## 主題 YS THEME (2004~2005)

クラブ会長 : 『 人が人として心豊かに生きるために! 』  
 国際会長 : "Let Your Light Shine" 『 輝かせ あなたの光を 』  
 アジア会長 : "Love your neighbors as yourself."  
 『 自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ 』  
 西日本区理事 : 『 "皆な仲間" 働こう! 』  
 中西部長 : 『 響き合い、ともに歩む 』

## クラブ役員 Officers

会長 : 石津 雅人  
 副会長 : 谷川 俊一  
 // : 鎌田 史朗  
 書記 : 山田 孝彦 (主)  
 // : 栗山 佳三  
 会計 : 三浦 直之 (主)  
 // : 鎌田 史朗  
 対外会長 : 坂本 千春  
 Y連絡職員 : 浜野 昌保

## 月間強調テーマ : 『 Kick-off EMC-C 』

€€€€ 7月の聖句 €€€€

【 Biblical Message of July 】

€€€€ 7月の例会 €€€€

【 July Club Meeting 】

だから、わたしたちは落胆しません。たとえわたしたちの「外なる人」は衰えていくとしても、わたしたちの「内なる人」は日々新たにされていきます。わたしたちの一時(いっとき)の軽い艱難は、比べものにならないほど重みのある永遠の栄光をもたらしてくれます。わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。

(コリントの信徒への手紙 二 4章16~18節)

## ○ 7月 第1例会

日時: 2004年7月21日(水) 18:30~20:30

場所: 東洋ホテル3階 司会 三浦 直之君

1. 開会点鐘 谷川 俊一 会長
2. ワイズソング ー 同
3. ゲスト紹介 谷川 俊一 会長
4. 聖句朗読 三浦 直之君
5. 今月のテーマ 富中 彬君
6. 日々の糧・晩餐 ー 同
7. 会長交代式・司式 中西部長 松本武彦氏
8. 方針説明 中西部長 松本武彦氏
9. 新会長挨拶・方針説明 石津 雅人 会長
10. 新年度予算の審議・議長 石津 雅人 会長
11. 新年度方針説明 (とくに要コメントの場合) 各事業委員長
12. インフォメーション 各担当
13. お誕生日祝い・ニコニコ献金 ー 同
14. 閉会点鐘 石津 雅人 会長

## ○ 7月 第2例会

日時: 2004年7月28日(水) 18:30~20:30

場所: 大阪YMCA土佐堀館9階

\*7月例会当番 5班 (三浦、浜野、新保)

\*7月お誕生日 Happy Birthday!

坂本メネット21日

## €€€€ Attention Please €€€€

1. 新年度がはじまりました。7月第1例会で、谷川 俊一 会長と石津 雅人 新会長の交代式が行われます。新たな気持ちで、みんなでクラブ運営を盛り上げていきましょう。
2. 今後の例会日程などで、とくに 下記にご注意ください。
  - ・8月23日(月) 8月第2例会  
 キャンプのため、8月第2例会のみ 第3月曜日に変更です。
  - ・8月25日(水) ~28日(土) 「フレンドシップキャンプ」
  - ・9月15日(水) 9月第1例会は ピアパーティです。  
 フレンドシップキャンプの懇別会を兼ねて行います。

## 【クラブ統計 Statistics】 下欄( )は、うち 広義会員を表わす

2004年6月	種別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金
在籍会員 21(1)名	メン	12名	9名	6月: 切手 415 gr.	6月: 円
例会出席 14名	メネット	4名	名	現金 2,000円	
うちメグアップ 2名	ビジター	名	名		(03年7月~04年5月の)
	ゲスト	1名	名	(03年7月~04年6月の)	累計: 305,900円
出席率 70.0%	合計	17名	9名	累計: 切手 6219 gr.	( 除く、クリスマス献金、
				現金 24,500円	オープンション、記念献金 )

冒頭に「だから」とあるのは、この文の前に「主イエスを復活させた神が、イエスと共にわたしたちを復活させ、あなたがたと一緒に御前に立たせてくださると、わたしたちは知っています」という言葉が書かれているからです。

さて、私たちは神の導きを信じて生きるとき、内面的な自己は、衰えるどころか永遠の栄光がもたらされ、ますます希望を抱いて過ごすことができると聖句は教えています。

現在 私たちを取り巻く社会は、戦争やテロや経済不況や人心の荒廃など、絶望的な社会現象が渦巻いております。しかし、落胆するな、希望を持って、と聖句は励ましてくれています。聖書は他の箇所にも「信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです」とあることを心に銘記しましょう。

(聖句選、コメント：黒田駿之)

### 6月 第1例会

【 Report of the June Club Meeting】

(6月16日(水) 18:30~20:30 東洋ホテル)  
文責・藤原正巳

- 6月例会は ゲストスピーカーに高齢者総合福祉施設「オリンピック兵庫」館長、山口 幸さんを迎え、メン12人、メネット4人が出席して開催されました。

福永嘉彦メンの司会のもと、藤原正巳メンの聖句朗読で始まり、坂本千春特別メネットによる「ハワイ地区大会参加報告」、中村幸枝メネットから ご尊父逝去時のお礼のご挨拶、および山田孝彦書記による「西日本地区大会参加報告」が行われました。

「西日本区大会報告」では、当クラブからの参加者が少なかったこと、昨年と比較して受賞数が大幅に減少したこと、これとは対照的に「なかのしまクラブ」が主な賞を総なめにしたことなどが詳細に報告され、今後のクラブ運営に大きな一石が投げられました。

- ゲストの山口 幸さんのスピーチ「新しい介護が始まっている」は、新しい痴呆性高齢者介護のあり方を世に問う、極めて示唆に富んだお話でした。

同氏は、痴呆は一つの人間の障害であり、痴呆性高齢者の介護においては、これまでの画一的で効率重視の介護から、個人の人間性を重視した、普通の人間らしい生活の中での介護が必要であることを強調されていました。

話の端々からは、高齢者介護の先進国、スウェーデンで学ばれた理論や経験を実践しようとする、強い熱意が感じられました。「障害や病気がどんなに重くても、



( ゲストスピーカーの山口 幸さん 熱意をこめてこれからの痴呆性高齢者介護のあり方を話される —上・下とも )

♫ 人には普通の生活を送る権利があり、社会はこれを支える責任がある」という言葉には、私たちの心を捉えて離さない、強い響きがありました。

- 閉会挨拶では、谷川会長から過去1年間の会長職を総括した感想と感謝の言葉が述べられました。会長職は来月の会長交代式により 正式に次期の石津会長に引き継がれますが、1年間のご奉仕本当にご苦労様でした。



( ワイズ西日本区大会 840人の大宴会で — 鈴木メンを囲んで、わがクラブメンバー )

## お知らせ

1. 土佐堀YMCAホームパーティ = 会員のつどい  
土佐堀YMCA協会員を対象に、ざっくばらんに語り合  
おうの趣旨で。初めての開催です。

日時：04年7月16日(金) 18:30~20:30

場所：YMCA土佐堀会館10階 会費：1,000円

プログラム：自由懇談 生ビールなどで、なごやかに・・・

申込：土佐堀YMCAウェルネスセンターあて

Fax：06(6225)9843 7月9日までに。

2. 「いのちの電話」チャリティコンサート

8月1日(日) 13:30開場 14:00開演

ヴァイオリン：幸田 聡子さん(いずみホール)

3. 「なかのしまクラブ」ビアパーティ

8月4日(水) 18:30 リーガランドホテル(中之島)

西・セントラル・泉北との合同(右記6月第2例会を参照)

4. 第7回 中西部会

日時：04年10月2日(土) 場所：“pia NPO”

セレモニー13:30 ~ /クルージング16:00 ~

5. 2004年度 ワイズメンズクラブ国際大会

日時：04年8月12日(木)~15日(月)

場所：インド・コーチン

## 6月第2例会

【Report of the June Club Meeting】

(6月23日(水) 18:30~20:30 大阪YMCA)

1. 7月第1例会プログラム

第1面のとおり。会長交代式がメインプログラムとなる。

2. 「フレンドシップキャンプ」

(8月25日(水)~28日(土)六甲山Y、府立海洋センター)

①会計予算

・収入—約250万円まではメドがついた。センテニアルク  
ラブとしては、ニコニコとファンド会計から50万円、およ  
びメンバーの献金(ただいまのところ)36.5万円を拠出する。

・支出—収入の限度に対応して、予定費用を縮小するな  
どの調整を図る必要がある。

②参加することもたち(付添は別)

なら10人、オキナワ16人、一般公募15人(いま11人)

③リーダー

関西テレビ4人、朝日6人、YMCA5人 計15人

リーダー研修6月26日、フレ・キャンプ7月25日

④課題

・センテニアルクラブのメンバーをはじめ、土佐堀Y、中西  
部各クラブの人たちに、どう関わっていただくか(セレモニ  
ー、交流、手伝いなど)検討する。

・広報、プレス対応、傷害保険、Tシャツのデザインなど。

3. BBC

「東京セントラルクラブ」(石井一也会長)と締結すること  
を検討する。7月第1例会で提案する。

4. その他

① 中西部評議会(6月19日)の模様について、石津次期  
会長から報告あり。

② 8月4日「なかのしまクラブ」のビアパーティがある。  
わがクラブは、8月は「フレンドシップキャンプ」があるの  
でクラブとしての合同開催は無理。よって、参加できる人は  
個々に参加し、なかのしまクラブとの交流をはかりましょう。

## 6月 BF ニュース

【 Report of the Brotherhood Fund in June 】

BF 委員長：栗山 佳三

◇現金提供者：栗山、山田君

◇切手提供者：山田、石津、谷川俊、鈴木、谷川寛、  
栗山、藤原、福永君

今月の殊勲賞：山田君 165gr

## YMCA ニュース

大阪YMCA統括本部 浜野 昌保

○大阪YMCAでは、7月18日を「安全の日」と定め、  
生命の大切さと、自分自身の安全と他者の安全を考え  
る機会として「安全キャンペーン」を実施しています。  
今年度もキャンペーンへのご協力をお願いいたします。

★イキイキ健康生活セミナー

日時：7月9日(金)午後2時~3時30分

場所：YMCAサンホーム

テーマ：今のうちに聞いておこう!

ベッドと車イス編~安心・安全な選び方~

講師：船木 勉氏(福祉用具専門相談員)

参加費：無料

問合せ：YMCAサンホーム TEL06(6787)3733

★大阪南YMCA早天祈祷会第 [第50回特別記念礼拝]

日時：7月9日(金)午前7時30分~8時30分

場所：大阪南YMCA ライブラリー

証し：咸 仁公(ハム インゴン)氏

(大阪Y常議員・南Y運営委員・サウスワイズ)

問合せ：大阪南YMCA TEL06(6779)8362

★第134回 大阪YMCA早天祈祷会

日時：7月16日(金)午前7時30分~8時30分

場所：大阪YMCA会館 10階チャペル

証し：北村 良蔵氏(北Y協会員・豊中ワイズ)

問合せ：大阪YMCA TEL06(6441)0894

## これからのクラブの運営について

( 会長 石津 雅人 )

この一年間センテニアルワイズメンズクラブ会長としての働きを与えられました。メンバー皆様のご支持と助けをよろしくお願ひいたします。

私は「人が人として豊かに生きるために!」ということ念頭において責務を果たしていきたいと考えています。

年齢・経歴・価値観等の異なる人々が集まってひとつのクラブを構成し、共に活動が行えることは、まさしく一期一会であります。大切にしていきたいものです。

ワイズメンズクラブの原点である「YMCA の活動を支える」ことを常に意識し、メンバーの方々とともに活動を率先してまいります。土佐堀カーニバルやチャリティランなどYMCA のプログラムに積極的に参加し、汗して活動する喜びを共感したいものです。

また、「大阪青年」や「関西のちの電話」で発送の牽仕をしていただいているメネットやメンの方々に感謝です。陰ながら多くの方々が牽仕してくださっていることを誇りに思っています。機会あるごとにクラブのメンバーに奨励し共に牽仕したいと思ひます。

今まで年に一度行っていましたが「デファレンスデー」は今後「デファレンスデー」という表現はなくなりますが、EMC の一環として「公開の例会」という形で存続させ、クラブ外の人々との接点のひとつとしていきたいと考えています。

そしてまた、心身共に健康であるために例会だけでなく前会長が管められた「健康ハイキング」も継続して行い、この場を通して一人でも多くの人々と共に分かち合いの機会が持てればと思います。

ワイズメンズクラブは国際的なクラブですが、直接海外のクラブと接する機会は少ないので、せめて海外情報に精通されている当クラブのメンバーの方のご協力を得て、最新の海外ニュースを例会またはプリテンに提供していただければ、私たちの見聞も広がり活力が出てくるのではないかと思います。

今年は8月にフレンドシップキャンプを行います。そのために今まで計画、準備段階で働いてこられたメンバーの方々に感謝しています。このプロジェクトを実施するにあたり多くの方々のご支援とご協力が必要です。共に参加し、支えるものと支えられるものが歓喜の涙を流すのを体験したいものです。

その他多くのプログラムやファンドなどがあり皆様のご理解とご協力が必要です。今後とも支えをよろしくお願ひいたします。

## 新しい1年を こうやっていきたい

☆ 交流 IBC/DBC/YEEP/STEP

( 委員長: 藤原 正巳 )

委員会の主たる活動を「IBC」に置き、以下の方針と計画により、会員の皆様がIBC活動を通じて「ワイズ活動の楽しさを再認識できるように努めたいと思ひます。

## 基本方針

- ①海外フザークラブの活動展開について、引き続き情報提供を継続する
- ②海外フザークラブに対する当クラブの情報提供活動を更に強化する
- ③クラブ単位の交流プログラムの実施を検討する
- ④国内DBC 締結の必要性について検討する

## 実施画

- ①海外フザークラブの異動把握・情報活動  
フテンの「Alpha from Hawaii」「Bahria News」を引き続き掲載し、両クラブの情報提供会員と連携する
- ②海外フザークラブへの情報提供活動  
フテンの英文「Club Activities」欄の内容を拡大し、例会時以外の記事の掲載を検討する
- ③交流プログラムの検討  
会員の皆様アンケート調査を行い、海外フザークラブとの交流方法などにつき検討を行う。
- ④国内DBC問題  
当クラブとしてのDBCの必要性につきアンケート調査などによる検討を行う。

☆ メネット会

( 会長: 坂本 千春 )

次期メネット会長としての運営方針ですが、前期に引き続き、

1. 大阪青年の発送手伝いの継続
2. 次期メネット事業への協力
3. センテニアルメネット間の交流
4. 次期メンの活動への協力

などを、基本的に活動していきたいと考えています

☆ ファンド BF/EF/JWF ( 委員長: 栗山 佳三 )

## 1. 方針

- ①BF: 一人あたり使用済み切手・現金ポイント合計 3000 ポイント (25US\$相当額) を目標とし、全員達成を目指す。
- ②CS: 年賀切手一人あたり 1800 円を目標とする。
- ③FF (ファミリーファスト) の目標額は一人当たり 1000 円。

(第5面へ)

(第4面から)

④EF・JWF基金への拠出を推奨する。

## 2. 計画

- ①BF 強調月間に例会で切手整理をし、BFの意義を考える。
- ②未整理切手を例会場に常備し、随時メンバーに持ち帰りいただく。
- ③年賀状にワイズのCS運動の意義と年賀切手回収のお願いを記載し、できるだけ多くの知人の協力を得る。
- ④「関西ののちの電話」支援
  - ・会員の継続
  - ・チャリティコンサート(8月)のチケット販売およびプログラム広告出稿
  - ・バザー販売支援(11月)
  - ・夏・年末の寄付金の出金
- ⑤FF献金のために日頃からリストコインをとっておく。
- ④EF・JWFへの認識を深め、拠出の方法、様式等をアピールする。

## ◆ 地域奉仕 CS/TOF (委員長: 中村 茂高)

### 1. 方針

- ①「沖縄アメリカンスクール」「ミャンマーチャイルドケア・プロジェクト」の支援
- ②「関西ののちの電話」の支援
- ③「年賀状切手シート」クラブ目標の達成  
(14シートまたは@1800円×会員数)
- ④「タイム・オブ・ファスト」クラブ目標の達成  
(@2700円×会員数)

### 2. 予算

- ①「沖縄アメリカンスクール」「ミャンマーチャイルドケア・プロジェクト」支援
 

「沖縄アメリカンスクール」	100000円
「ミャンマー・プロジェクト」	100000円
  - ②「関西ののちの電話」支援
 

・賛助会費	10000円
・チャリティコンサート賛助広告	10000円
・同チケット補助	25000円
・バザー協賛金	10000円
・夏季/年末寄付金	10000円
- ※ 別途、アガア支援については、リストクラブキャンプから60万円の拠出と会員からの募金合わせて、100万円を助成する予定です。

## ☆ 広報 (委員長: 松浦 孝次)

石津さんが立ち上げてくださった「ホームページ」を、さらにいろいろな人たちに見てもらえるよう、内容の見直し(とくにクラブ紹介の部分)と適時の更新を行っていきたい。更新は石津さんのテクニックをお借りして、と考えています。

「プリテン」は、読みやすくする工夫と、クラブメンバーの登場を心がけます。ほんとはカラー刷りにしたいのですが、コストが気になりまして・・・要検討です。

そして、フレンドシップキャンプの広報が、本年度のポイントです。

☆ EMC (委員長: 畠中 彬)

☆ Yサ・ユース (委員長: 新保 正秋)

## 2004/2005年度の クラブ役員

(Club Officers for 2004/2005)

会長 President	石津 雅人 Masato Ishizu
副会長 V. President	谷川 俊一 Syunichi Tanigawa
	鎌田 史朗 Sirou Kamada
書記 Secretary *	山田 孝彦 Takahiko Yamada
	栗山 佳三 Keizo Kuriyama
会計 Treasurer *	三浦 直之 Naoyuki Miura
	鎌田 史朗 Sirou Kamada
メネット会長 Y's menette President	坂本 千春 Tuaru Sakamoto
プリテン Bulletin・広報 PR	
	* 松浦 孝次 Koji Matsuura
	石津 雅人 Masato Ishizu
EMC EMC	畠中 彬 Akira Hatakenaka
交流 IBC/DBC YEEP/STEP	
	* 藤原 正巳 Masami Fujiwara
	永島 寧 Yuasusi Nagasima
ファンド BF/EF/JWF	
	* 栗山 佳三 Keizo Kuriyama
	三浦 直之 Naoyuki Miura
地域奉仕 CS/TOF	中村 茂高 Shigetaka Nakamu
Yサ・ユース YMCA Service ASF/YA	
	新保 正之 Masayuki Sinnbo
聖句 Biblical Message	
	黒田 徹之 Yoshiyuki Kuroda
連絡主事 Related Secretary	
	浜野 昌保 Masayasu Hamano
会計監査 Auditor	福永 嘉彦 Yoshiniko Fukunaga

( \*は 担当 )

At the club's June meeting on June 16, a total of 16 Y's men, Y's menettes and guests were in attendance.

Y's menette CHIHARU SAKAMOTO told her recent trip to Honolulu and Las Vegas, where the regional convention of the Hawaii Region was held. She enjoyed fellowship with members of the Nuuanu Y's Men and Women's Club and many others throughout her trip.

Secretary TAKAHIKO YAMADA reported the Regional Convention of the Japan West Region held at the Kaga Cultural Hall, Ishikawa Prefecture on the 12th & 13th of June. Members present at the Convention were KEN - SUKE SUZUKI, TAKAHIKO YAMADA, NAOYUKI MIURA, and KOJI and KAZUKO MATSUURA.

Guest speaker at our meeting, Mr. TSUKASA YAMA - GUCHI director of the "Olympia Hyogo" nursing home for the aged in Kobe told a new caring system for the patients with dementia. "Normalization" is a key word for caring these patients at his nursing home, where patients can live normal life as they used to do at their home.

President SHUN-ICHI TANIGAWA expressed his appreciation to all members for their support during his term. He will hand over his responsibilities to his successor, MASATO ISHIZU on the 1st July.

IBC クラブニュース

IBC・DBC委員長 藤原 正巳

"Aloha from Hawaii": Nuuanu クラブ・ブリテンから

① ヌアヌクラブ設立 40 周年記念祝賀会が 6 月 18 日に開催されます

同クラブは 1964 年 5 月 29 日に設立され、設立 40 周年を迎えました。これを記念して、6 月 18 日夕刻から Honolulu 市の Kapiolani Community College で記念祝賀会が予定されています。

祝賀会は生バンド付で、サイレント・オークションやくじ引き、ゲームなど盛りたくさんの楽しいプログラムが用意されており、参加費は 25 ドル (約 2,800 円)。約 200 人の出席が予定されています。(上記について、谷川俊一クラブ会長名で祝電を打っています)

"Bauhinia News": 香港 Bauhinia クラブ・ブリテンから

① 新年度のクラブ役員が決まりました (敬称略)

会長: Virginia Wong 首席役員: Marianna Tsang  
副会長: Gi Gi Chan 副会長: Yeung Tsui  
書記: Jade Chan 会計: Wilma Tong

♂

● 坂本千春メネットは、5月中旬、ハワイ・ヌアヌクラブのメンバーと一緒に、ラスベガスでのハワイ地区大会に出席しました。坂本さんのヌアヌクラブあてのお礼レターから、一部を紹介します。懐かしく楽しい交流の情景が目の当たりに浮かびます。

"My Amazing Days" Chiharu Sakamoto

How quickly my amazing days passed!

On May 18<sup>th</sup> I arrived at the Honolulu airport in the early morning.

Soon I saw my "Hawaii parents," Larry and Mae Hiranaka. They picked me up and I received beautiful lei from them. At that time, I was suffering from jet lag so I took a long nap when I arrived at their house. In the evening I saw Eric, Lauree And Scottie. I was very happy to see them again.

On May 19<sup>th</sup> Larry, Mae, and I left for Las Vegas in the early morning to attend the 68<sup>th</sup> Hawaii Region Convention.

At the airport I saw many Hawaii Y's members from all Hawaii regions. I had met some of them in 1999 when I attended the convention in Kailua, Kona. We arrived in Las Vegas in the evening. My first impression of Las Vegas was OH! GORGEOUS! What a lot of showy electric boards there are!

On May 21<sup>st</sup> I attended the buffet luncheon meeting. The meeting had a pleasant family atmosphere. Everyone seemed to know each other well. I felt that our convention in Japan was different from this one. The one dollar donation event was fun. I realized that people in Hawaii spend a lot of time for this hands-on Convention instead of spending a lot of money. There was a "family feeling of Aloha". That's why I felt a very warm atmosphere.

On May 23<sup>rd</sup> we came back to Honolulu.

On May 24<sup>th</sup> I attended a dinner with 11 members of the Nuuanu Club at the Ala Moana Hotel. It was a very happy time for me to see and talk with them.

I had a very, very good experience. Why could I have such a good time? Of course, I am a member of Y's Men International. I could meet so many nice people through Y's Dom. Thank you very much to everyone I met in Hawaii and in Las Vegas. Thank you very, very much to Mae and Larry.

Hope to see you again in Japan.

♂ ② 同クラブの創始者、初代会長 Dr. Rosalind Wong さんが天に召されました

同クラブ最大の功労者である Dr. Rosalind Wong さんが 5 月 21 日天に召されました。享年 91 歳。葬儀は 6 月 2 日、香港 Baptist Church で執り行われました。ご冥福をお祈りします。

(上記については、谷川会長名で弔電を打っております)

圧巻!! 840人の和装大宴会

反響をよんだ「絵本づくり大作戦」

ワイズメンズクラブ

第7回 西日本区大会

報告 : 松浦 孝次

04年6月12日(土)~13日(日)、加賀・山代温泉の加賀市文化会館とホテル百万石で開催されました。わがクラブからは、鈴木謙介・山田孝彦・三浦直之・松浦孝次メン、坂本千春・松浦和子メネットが出席しました。

最も脚光をあびたのは、メネット支援プロジェクトの「アフガニスタンの子どもたちに絵本を」でした。ときあたかも、紛争や戦火のもとで恵まれない環境にある国々の子供たちに手を差し伸べようという世界の動きに即応したプロジェクトといえましょう。

私もメネットアワーに参加して、多くのメネット、メンのみなさんが絵本づくりに真剣に取り組んでいる姿に、感じ入りました。マスコミの取材もありました。大会会場で「絵本」(＠1,000円)を買い求める人たちが殺到していたのも印象的でした。

坂本千春メネットが、中西部メネット主査として、当初から資金集めに腐心され、この大会でもフルに活躍されていたのは、素晴らしいことでした。

さて、12日の夜の懇親会は、「ホテル百万石」で温泉に入った後、和室大宴会場で、840人が浴衣で参加。写真に収めきれない600量(私の推定)に全員が座っての会食でした。「こんな宴会は見たことがない」空前絶後のもの。ワイズメンたちの迫力が伝わって、得がたい経験をしました。

朝食も、同じ会場で840人が先着順に座って、ご飯をいただくのですが、このシーンでは失礼ながら、一列に並んだプロイラーを連想しましたね。楽しい食事でしたが。

翌13日の表彰式では、センテニアルクラブは、ノンドロップ賞(立派なものです)とBF100%達成賞を獲得しました。なお、なかのしまクラブが最優秀賞を、また中西部長・杉浦眞喜子さんが理事特別賞を、受賞されたのは立派でした。

ホスト3クラブの周到な準備とご苦勞を、しみじみ感じました。大会は過剰な演出がなく、私は大変よかったと思います。

来年の第8回大会は、6月11日(土)~12日(日)大震災後10年を迎える神戸(ポートピアホテル)で開催されます。

みなさん、ふるって参加しましょう!! ワイズの真髓を味わえます。



( 大会に参加したセンテニアルのメンバー  
このほかに、鈴木メン、坂本メネットも )



( 大会会場で「絵本」を売る坂本さんたち —  
買い求める人が殺到していました・・・ )



( 大会初日 メネットアワーで 絵本づくりに精を出す  
参加者のみなさん )



## ニコニコ・メッセージ



【 Messages from the Club Members 】

### “ごぶさた”メッセージ

- 第1例会、第2例会とも欠席をお許ください。西日本区大会のご盛會を祈り上げます。 (黒田 徹之)
- 公務と病気のため欠席です。みなさまによろしくお伝えください。 (新保 正秋)
- いつもお知らせをありがとうございます。6月の開催日は横浜におり、関西を離れていますので、申しわけありませんが、欠席いたします。なお、このたび勤め(第一精工・株)を退社しましたので、横浜の家に行くことが多くなりました。 (永島 寧)

### 会員からのメッセージ

- 個人個人の人間性を重視してケアすることで生きがいを持ち続けることができるし安心して老後生活をしていけと思えます。人間性というものはいつまでも大切にしていきたいですネ! (石津 雅人)
- 人間性を重視した新しい高齢者ケアの考え方には大賛成です。私もボケが始まったらノーマライゼーションを実践するオリンピック兵庫のお世話になりたい。 (栗山 圭三)
- 痴呆症という身近な問題について、新しい見方や考え方を知ることができて、痴呆に対する私の見方が偏見に満ちたものであったことがわかりました。 (坂本 千春)
- 山口氏の説明を聞いて大いに学ぶことができた。祖父の山口光朔氏とは多年愉快な友人同士として交際していた。神戸女学院理事長として又YMCAのために良い働きをしてくれたことを覚えている。 (鈴木 謙介)
- 今日のスピーチ、どうもありがとうございました。 (田中 穂二)
- 今日も例会出席者が非常に少なく残念でした。しかし「痴呆」の話など高齢者福祉のテーマで大変貴重な話でした。欠席された人は残念です。 (谷川 寛)
- 「新しい介護」についてのお話を山口幸氏より伺いました。自分自身の将来と照らしあわせて興味深く拝聴しました。いくら素晴らしい将来の「住まい」があっても死ぬまで「元気」でいたいと切に願いました。と同時に、この方面の研究をされている山口氏をはじめとする研究者の方々の上に祝福が豊かにありますように。 (谷川 有美子)
- ひとりひとりのその人らしい普通の暮らし、これは痴呆の人だけではなく、地上に住むすべての人に与えられますように。要点を得た素晴らしいスピーチでした。ありがとうございました。 (中村 幸枝)
- 年をとっても、より良い生き方をしていきたいですね。毎日を精一杯生きていくことが大切だと改めて思った今日の例会でした。 (浜野 昌保)
- 久しぶりに出席でき、老人福祉の新しい考え方をお聞きすることができ感謝致します。 (福永 滋子)
- 高齢者のわれわれにとってはまことに切実なことだと改めて痛感しました。これにめげず、次々と進化するケアに恵まれているので、希望を持って生きていきたいものです。 (福永 嘉彦)

○メンの出席が12人とちょっと寂しい例会でしたが、ゲストスピーチを含め中身の濃い例会でした。山田書記の西日本区大会報告は、昨年と大違いの当クラブの活動実態を表したものですいぶん考えさせられる内容でした。報告にあった通り、やはり年初に具体的に目標を定め他クラブと一味違った取りくみをする必要があると思います。 (藤原 正巳)

○西日本区大会に参加し、各クラブのこの一年間のめざましい活動の実態に学ぶところが多かった。特に「なかのしま」の、手を抜かない行き届いた活動の成果には「負うた子に教えられ」という思いでした。

この一年間の、内部充実のプログラムの成果をベースに、きたるべき年の「多文化共生：フレンドシップキャンプ」にセンテニアルならではのパワーを発揮したいものです。 (山田 孝彦)

○山口さんの良く準備されたお話し、大変よくわかりました。理想的と思える介護施設を運営されており感心いたしました。 (三浦 直之)

### 個人消息

- 中村茂高メンは、04～05年度の「中西部・ファンド主査」に7月から就任されました。クラブのフレンドシップキャンプの準備とあわせ、活躍が期待されます。
- 中村隆幸メンのご尊父が亡くなられたことは、6月例会で幸枝メネットからご挨拶があり、ご承知のとおりです。5月の当欄で、夫妻の愛娘・中村圭さん(20歳)が、祖父が日中戦争に携行していた二眼レフで撮影した作品を写真展(神戸市)に出展したことを紹介しました。「あの写真展はまさしく、祖父と孫を繋ぐものでした。私も介護の日々から開放されたのを、今やっと感じています。」と、幸枝メネットが慰いをよせています。



( またまた 浴衣の登場—西日本区大会のヒトコマ )

### 《 編集後記 》

谷川会長、1年間ご苦勞さまでした。クラブ運営にご尽力をいただきありがとうございました。

石津・新会長以下、クラブ新役員のみなさんが、今期に進めていくことを発表されました。多方面への交流と奉仕を心がけ、お互いに素晴らしいクラブライフを楽しみたいですね。坂本さんの英文レター、長文の力作で、残念ながらとても全文は載せられませんでした。

新年度もプリテンをお読みください。 (松浦 孝次)